

# 発刊の辞

経営学部長 坪井 順一

2014年4月に経営学部が創設されました。本学部は「企業経営」、「公共経営」、「会計」の3つの領域をカバーする学部です。企業経営領域においては経営資源の配分から現代経営の諸問題を論じ、公共経営領域については今日問われている行政と市民あるいは企業との関係を三位一体として考え、会計領域では資格取得をめざして真剣な指導が行われています。各領域における山積する問題を対処するために、大学および学部は、使命として問題に対する社会への情報発信をしていくことが望まれています。

この度、学部の研究発表・情報発信の場として『経営論集』を刊行することになりました。学部の総意として社会へ研究成果を知らしめ、経営学部の研究活動に対する刺激になればと考えています。少しでも多くの方に読んでいただき、ご意見や批判を通じて、研究内容をより高いものにしていくことができれば何よりだと思います。

本学部は、大学の教育理念である「人間愛」の教育を一步進めて「人間尊重の経営」を教育理念としています。経営学部の実践の場で人間尊重を具現化しようという理念でもあります。学部のカリキュラムにおいて、「人間尊重」は、単なる理念ではなく、実践的なものであり、自ら認識し、学生に対する意識を高め、学部で学ぶ誰もが人間尊重に対して基本的に共有された認識をもち、意識的に人間の存在を考えることで、つねに「人間」を念頭においた学問をするということを目的としています。教養ある学生を育て、自らの意見を持つことで発言できる自律的な学生を育てることが学部教育の目的でもあります。

本学部は、17名の教員で構成されています。いずれも教養豊かで学問に対しても真摯に研究活動をしています。これから多くの関係者がこの場を用いて研究発表をおこない、学問の真理の一端を究明していくことと期待しています。この経営論集が社会の一翼を担い、社会的な価値が生まれれば幸いです。